

全生連委員会報告について

第 190 回 総 務 委 員 会(2025 年5月 14 日)・・・資料 7-1(P1～P2)

第 82 回 共 同 事 業 委 員 会(2025 年 5 月 19 日)・・・議事録未定稿

第 83 回 共 同 事 業 委 員 会(2025 年 7 月 8 日)・・・議事録未定稿

第 174 回 技 術 委 員 会(2025 年 7 月 7 日)・・・議事録未定稿

第 39 回 品 質 管 理 監 査 委 員 会(2025 年 6 月 26 日)・・・資料 7-2(P3～P6)

第 173 回 認 定 共 同 試 験 場 委 員 会(2025 年 7 月 9 日)・・・議事録未定稿

2025 年7月23 日

北海道生コンクリート工業組合
北海道生コンクリート協同組合連合会

第190回総務委員会議事録

全国生コンクリート工業組合連合会
全国生コンクリート協同組合連合会

1. 招集年月日 令和7年4月1日

1. 開催日時 令和7年5月14日（月）午後1時30分～3時

1. 開催場所 全生連 大会議室（Web会議併用）

1. 出席者

（委員） 福岡桂、嶋津成昭、井町孝彦、森田真澄、鷺澤幸一、
宇崎修一、西尾太志、木村貴洋、山根正樹、泉圭一
（役職員） 高木康夫常務理事ほか6名

1. 議事の経過の要領および議案別議決の結果

事務局から本日の出席状況について、全員出席している旨、報告があった。早速、福岡委員長を議長として審議に入った。

（1）令和6年度第4回（第189回）総務委員会議事録について

事務局から、前回議事録について資料に基づき説明があり、原案どおり承認された。

（2）総会提出議案について

事務局から、工組連・協組連の事業報告書・予算実績対比表・財産目録・貸借対照表・損益計算書・剰余金処分案についてそれぞれ資料に基づき説明があった。

工組連の予算実績対比表については雑収入の増加や技術大会費の減少等により4,372千円の黒字、協組連は424千円黒字となるとの説明があった。

以上の説明があった後、全生協組連からの7協組の脱退理由、全生協組

連の在り方、工組連・協組連の委員会等についての意見交換があった後了承された。

続いて事務局から、事業計画（案）・予算（案）・役員報酬の最高限度額（案）・借入金残高の最高限度額（案）・役員選任についてについて説明があった。

工組連の予算修正案については JIS 追補改正説明会収入の増加や調査研究費、カーボンニュートラル事業費、理事会費、委員会費の減額等により 14,500 千円の赤字、協組連は委員会費の減額等により 1,500 千円の赤字の案としたとの説明があった。

以上の説明があった後、コンクリート舗装の実績、残コン戻りコンの転用、人件費、調査研究事業費の減額等の意見交換が行われた。総務委員会としては前回 3 月の委員会で提案した案と修正案を理事会に答申することです承された。

（３）その他

①令和 8 年度税制に対する要望の提出について

事務局より、令和 8 年度税制改正に対する要望を 6 月 17 日（火）までに提出してほしい旨の説明があった。

②外国人材の活用について

高木常務理事から、外国人材の受け入れについて、育成就労制度の業種指定について経産省と打合せを行っているとの報告があった。

③今後の総務委員会の開催予定について

事務局から、今後の会議予定について報告があった。

以上の報告があった後、新增設、セメントの値上げ、集約化についての意見交換があった。

第 39 回 品質管理監査委員会 議事録

(令和 7 年度 第 1 回)

全国生コンクリート工業組合連合会

1. 日 時 令和 7 年 6 月 26 日 (木) 13 時 30 分～16 時 00 分
2. 場 所 全生連 大会議室 (Web 会議併用)
3. 出席者 合計 17 名
 <委員 10 名>
 細貝博委員(北海道), 黒澤伸夫委員 (東北), 高松裕一委員(関東一区), 嶋原俊行委員(関東二区), 宮田政佳委員(北陸), 大場伸章委員(東海), 大前祐樹委員(近畿), 福田啓亮委員(中国), 渡部善弘委員(四国), 古川直光委員(九州)
 <役職員 6 名>
 高木康夫常務理事, 中永秀彦全国品監室長, 黒澤靖総務部長, 草野昌夫企画部長, 西本洋一技術部長, 辻本一志中研所長, ほか 1 名
4. 議 題
 (1) 委員長・副委員長の選任について
 (2) 前回議事録の確認について
 (3) 運営委員会について
 (4) 令和 7 年度重点検討課題について
 (5) 意見・要望について
 (6) 令和 6 年度監査調査項目について
 (7) その他
 ・ 次回当委員会の開催日時について
5. 資 料
 #1 第 38 回品質管理監査委員会議事録
 #2 「全国会議」議事概要
 #3 「運営委員会」議事概要
 #4 令和 7 年度重点検討課題
 #5 各地区本部からの意見・要望事項
 #6 令和 6 年度監査調査項目について

6. 議事内容

議事に先立ち、高木常務から各委員に対して謝辞があり、業界側の意見・要望を全国統一品質管理監査制度へ反映させより円滑に進めるために、ご協力をいただいたいとの挨拶を述べられた。

(1) 委員長・副委員長の選任について

各委員自己紹介の後、委員長選任までの間、高木常務が暫時議長となった。

① 委員長の選任について

高木常務から各委員に委員長の選任について諮ったところ、福田委員より高松委員（関東一地区）を推薦したいとの発言があり、他の委員もこれを了承し、高松委員もこれを承諾した。

次に、議長は高木常務から高松委員長に交代した。

② 副委員長の選任について

高松委員長から各委員に副委員長の選任について諮ったところ、委員長一任の声を受けて、委員長から渡部委員（四国地区）を指名する発言があった。他の委員から異議なしとの発言があり、渡部委員もこれを承諾した。

高松委員長及び渡部副委員長が就任の挨拶をされた後、議事の審議に入った。

(2) 前回議事録の確認について

事務局から、資料#1に基づき、2月3日開催の第38回品質管理監査委員会の議事録について説明があり、了承された。

・東北地区①について、チェックリストの構成の見直し、表現を変えて統合できると良いのではないかと意見があった。継続審議とし、次回の委員会にて、B5120(計量印字記録装置)とB4302(計量精度・動荷重検査)を統合した案を事務局が提案することとした。

(3) 全国会議について

事務局から資料#2に基づき、2月6日に開催された第67回全国会議の議事概要について説明があり、了承された。第67回全国会議の主な説明事項は以下のとおり。

a)令和6年度全国統一品質管理監査結果について

b)令和6年度㊦マーク使用承認について

c)令和7年度全国生コンクリート品質管理監査会議基本方針および重点検討項目(案)について

d)令和7年度品質管理監査について

e)令和6年度㊦マーク使用承認及び取消しについて

f)規程類の一部改正について

g)令和7年度及び令和8年度全国生コンクリート品質管理監査会議 学識経験者委員の選任について

(4) 品監運営委員会について

事務局から資料#3に基づき、4月15日開催の第187回、6月3日開催の第188回の議事概要について説明があり、了承された。このうち第188回品監運営委員会の主な説明事項は以下のとおり。

- a)令和6年度及び令和7年度㊟マーク使用承認及び取消しについて
- b)令和8年度監査基準チェックリストの改正について
- c)令和7年度監査説明会における監査基準及びチェックリストへの要望・質問の回答について

・B5118(粗骨材表面水率補正装置)の削除については、来年も全ての工場がA評価であれば、削除する方針である事の確認がなされた。

(5) 令和7年度重点検討課題について

事務局から資料#4に基づき、前回委員会で承認された品質管理監査委員会の令和7年度重点検討課題について、再確認の意味で事務局より説明があり了承された。

(6) 意見・要望について

資料#5に基づき、東北地区本部、中国地区本部及び近畿地区本部から提出された意見・要望事項の内容を審議し、了承された。

各意見・要望への対応を以下に記す。

東北地区	B6101～6108 外注管理関係	不採用と報告された。 今後は B6101(材料試験)のみに絞って改めて提案するか、契約書以外の方法による管理方法を提案できないかを検討する。
中国地区	監査統括責任者、副監査統括責任者及び監査員の資格、任期及び責務に関するガイドライン	運営委員会からの回答を地区会議に持ち帰る。
中国地区	C0201(圧縮強度)	今回の回答を地区本部に持ち帰り、内容を変えて再度提案するか検討する。
中国地区	A0401(教育訓練)	現在の監査基準は、JISQ9001で要求される要員の力量と、JISQ1001で要求される教育訓練が混在している。運営委員会に考え方を確認し、その上で改

		めて審議する。
中国地区	A0603(産業廃棄物処理)	改正案 2 で、進めることとする。また、改正案の文章で問題ないか、地区本部に持ち帰り検討いただく。 現在の書式はフォントが小さく、段落もつまっている ので、様式を事務局で検討する。
近畿地区	1.統括責任者・副統括責任者のガイドラインおよび外部監査員のガイドライン	コンクリート技士の有資格者は監査員にできる旨の回答が以前運営委員会であったことを、地区会議に持ち帰る。また、事務局は QMR や ISO9001 審査員資格も認められるか、内々に運営委員会委員に意向を確認する。
近畿地区	2.統括責任者・副統括責任者のガイドラインおよび外部監査員のガイドライン	運営委員会に上程する。
近畿地区	3.統括責任者・副統括責任者のガイドラインおよび外部監査員のガイドライン	事務局にて対応する。

(7) 令和 6 年度監査調査項目について

資料 #6 は、令和 6 年度監査の調査項目をまとめたものである。各地区会議に持ち帰り内容をフィードバックしていただきたいとの、説明がされた。

次回以降の予定

・ 2025 年度第 2 回:2025 年 11 月 18 日(火) 13:30~16:00

以上